

プロジェクト ナマコ資源増大チャレンジ

目 標

・ ナマコ種苗生産数 R4：17.6万個 → R10：50万個

挑戦する内容

- ・ 増産計画策定に向けた推進体制の構築
- ・ 大型種苗生産等への取組

関係者の声
=対話

- ・ ナマコ資源が減少しており対策が必要（漁業者）
- ・ ナマコ大型種苗生産施設が必要（市町村）
- ・ 大型種苗増産計画を策定し、増産への取組が必要（市町村）

役割分担

- ・ 漁業者 : ナマコ資源量調査への協力
- ・ 産技センター : ナマコ資源に関する基礎調査、効率的な種苗放流方法の検討等
- ・ 種苗生産機関 : 大型種苗生産に係る取組等
- ・ 県 : 種苗生産機関への支援、増産推進体制づくり

変革後の姿

- ・ 効率的な種苗放流による生残率の向上、種苗生産施設の機能強化による種苗の大型化や生産数の増加で持続可能なナマコ漁業が実現

令和6年度計画

挑戦する内容

- 1 増産計画策定に向けた推進体制の構築
 - ・ ナマコ資源増大のための増産計画策定に向け、関係者間での推進体制を検討
- 2 大型種苗生産等への取組
 - ・ 先進地である北海道への視察研修
 - ・ 効率的な採苗方法の実証試験等を実施



漁業者によるナマコ種苗生産

対話

- ・ 部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（8月、1月）
- ・ 増養殖検討会で関係者間でナマコ増産方法等について意見交換し、ナマコ増産計画策定を検討（年3回）